

沖縄の地域資源の活用・沖縄生まれのおすすめ商品

沖縄だからこそできる 自然環境学習プログラムを開発

OKINAWA 亜熱帯自然環境 学習プログラム

活用した地域資源

沖縄のビーチ・マングロープ自生地・植林地
サンゴ生息地・養殖地

事業概要

沖縄における修学旅行の受入は年々増加傾向にあり、内容も平和学習、各種体験型学習と多岐にわたる。ここエコツーリズムデザイン研究所では、環境学習プログラムに着目し今までに無い高付加価値のプログラム開発に取り組んでいる。

生産者インタビュー

今回開発された体験プログラムについて
お聞かせ下さい。

修学旅行マーケットをターゲットとし、亜熱帯自然環境を活用し、環境問題に特化した体験型学習プログラムを開発しました。

これまで自然体験型プログラムは多くありますが、今回、自然科学の専門家が加わり、専門的な知識を下にして実施する学習プログラムは少なかつたと思います。プログラムを組み立てる段階から専門家が参加して、亜熱帯自然環境の沖縄だからできるプログラム内容に仕上げていく途中です。現在、多くの体験型プログラムは他府県でも実施が可能な内容であるとおもいます。修学旅行の体験型プログラムを実施する学校の中には、亜熱帯自然環境や独特な文化など活用し、沖縄だからできる、学習効果の高いプログラム内容を求めている先生は少なくないと思います。それらの要望を形にしようと動いている状況です。

この体験プログラムを企画したきっかけは
なんだったのですか？

沖縄で体験型のプログラムが定着しはじめた



体験イメージ

費者である人類をあらためて考える」になります。また、プログラムの実施は、事前学習、実踏、事後学習が一つのパッケージになった運営をします。活用するメイソフィールドのサンゴ礁の海とマングローブ林です。これらを自然科学や温暖化対策に取組んでいる専門家集団と一緒に、学習効果の高い環境プログラムを実施していきます。

今までに無い高いレベルの自然環境プログラムは、専門科による指導で高い学習効果が考えられる。沖縄での修学旅行をきっかけに自然環境の問題に関心が高くなることを望む。

具体的な内容をお聞かせ下さい？

沖縄の亜熱帯自然環境を活用した環境プログラムを実施します。テーマは、生き物を育む、地球の歴史から環境問題を意味を探る「かけがえのない地球の自然を残すには、地球資源の消

沖繩の亜熱帯自然環境を活用した環境プログラムを実施します。テーマは、生き物を育む、地球の歴史から環境問題を意味を探る「かけがえのない地球の自然を残すには、地球資源の消



エコツーリズムデザイン研究所
〒900-0014 沖縄県那覇市松尾2-1208
TEL 098-860-8099 FAX 098-860-5972